**第1号議案：2020年度事業報告**

**基本理念「この地球に住むすべての人々が人間として尊重され、自立し、良い環境の中で平和に暮らして行けることを願っています」**

**世界中を席巻する新型コロナウイルス感染症、終わらない紛争、自然災害、可視化された人権問題など、アーシアンの理念と逆行する状況が続く1年でした。**

**コロナ禍で活動が制限される中、出来ることを模索しながら事業に取り組みました。**

**Ⅰ．交流支援事業**

**パキスタン、ラオスへの支援を行いました。**

**１**）**パキスタン**

**アルカイールアカデミー職業訓練所支援**

・縫製科の運営費を支援しました。２０２０年度分として本部より３６万円を送金しました。今後柏ショップより８万円を支援する予定です。

・国をまたいでの移動ができなかったため、直接話を伺う機会がありませんでした。

　メールや日本ファイバーリサイクル連帯協議会（JFSA）からの報告で現地の様子を知ることとなりました。

・縫製科の女生徒の将来の職業選択の１つになるよう縫製工房と連携し商品開発をすすめました。

**２）ラオス**

**「サワンナケート県農村部土地と自然資源の持続的な利用・管理支援プロジェクト」**

**NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）支援**

・３月にZOOMで現地の様子、事業の報告を受けました。

・JVC国際協力カレンダーの販売に取り組みました。千葉カタログでの取り組み部数が減少し、カレンダー販売の収益のみの支援金は７３，４７６円でした。

**Ⅱ．販売事業**

**１）アーシアンショップ柏**

**コロナ禍という厳しい状況の中でしたが、ショップの運営継続と同時に様々な情報発信にも取り組みました。**

**１.** 取り扱い製品

・新たに４つの団体のフェアトレード製品を取り扱うことができました。

 重点品目のオーガニックコスメやオーガニックコットンも売り上げを伸ばしました。

**２**．ショップイベント

・集客ができないため、１０月に２６周年行事として「アジアの手仕事に出会う」と題した展示を２週間行い、約８０名の来店がありました。しかし他の予定は中止となりました。

**３．**キャンペーン・募金

 ・千葉カタログの売り上げの１％をアルカイールアカデミー縫製科に寄付する取り組みは、売り上げの増加により８万円となりました。アレッポの石鹸キャンペーンと店頭募金も引き続き実施しました。アーシアン入会キャンペーンについては今年度の入会はありませんでした。

・全国のフェアトレードショップが実施したクラウドファンディング「フェアトレード未来チケット」に参加して支援をいただきました。それにより他のショップとの情報交換ができました。

・コロナ禍の生産者支援として、グローバルビレッジのクラウドファンディングに寄付しました。

**４**. 生活クラブ虹の街

・千葉カタログへの掲載では今年度２つのメーカーを取り扱い、売り上げが伸びました。また５つのデポーで計１４回の展示会を行いました。

**５**. 関連団体、地域とのつながり

・ウェルシティビルの活性化については、取り組むことができませんでした。

・例年参加している地域イベントはすべて中止となりました。生活クラブ柏ブロックとは連携を続けており「社会福祉法人生活クラブ風の村」へ不足していたマスク支援を行いました。

・JFSAのカルハナ事業に協力してアルカイールアカデミー縫製工房で作成したブラウスを仕入れ、２０枚販売しました。

**６**. 広報

・情報発信手段としてSNSを活用し、フェイスブックの他４月にインスタグラムを開設。ショップ情報誌「アーシアンの風」を今年も発行しました。

・今年度は地域情報誌「BE-COM」に毎月広告と共に商品やフェアトレードの記事を掲載しました。記事の反響は大きく来店に結びついています。

**７**. 店舗運営　＊緊急事態宣言中の４～５月は週２日の縮小営業となりました。

・スタッフ全員が役割を持ってスキルアップを計り、業務分担も進みました。

・ミーティング内での商品研修を継続し、１０月にはフェアトレードの現場を知る研修、１２月にはオンラインでフェアトレードショップ運営講座に参加。その他のWebセミナーなども積極的に受講しました。また高校生のショップ体験研修の受け入れも行いました。

**２）アーシアンちば**

**１.** アルカイールアカデミー

・アルカイールアカデミーの縫製工房との商品開発は、「外でも着られるパジャマ」が夏と

秋のセンター展示会が中止となったため公開することができませんでした。しかし、コルザ（生活クラブ虹の街の機関紙）や柏ショップの協力で販売ができました。製品としての完成度の認識に違いがあり、縫製工房のメンバーとの意思疎通の難しさを実感しました。

目標である生活クラブのカタログでの取り組みには技術の向上が必要であること、お互いにそれを納得して仕事を進めることが大事であるという事をJFSAを通して伝え、新たな商品開発として手織り布とそれを使った４型の衣類のサンプルを発注しました。

**２．**生活クラブ虹の街

・生活クラブ関連では、ちばカタログで食品と雑貨を毎月取り扱い、販売数は安定してい

ます。春のセンター展示会、デポー出展、デポーでのヘナ販売、食品販売、デポーカタログ販売は引き続き行いました。

・カタログ紙面や商品に同封しているリーフレット等で商品の背景や物語を伝えました。

**３**．BOX・地域
・毎年恒例となっているBOXは開催されなかったり、縮小されたBOXがありました。

　また、地域でのイベントも中止やオンライン開催となりました。

・初めて風の村で予約販売形式のBOXを行いました。

**４**．外部学習会

・オンラインの様々なテーマの学習会に参加することができました。ピープルツリーの主催

した「フェアトレードの学校」では改めてフェアトレードの基礎を学べました。

**５**．キャンペーン

・「給食支援キャンペーン」では７万円、「アレッポの石鹸キャンペーン」では２８,３２０円を寄付できました。

**６**．その他

・本年度の余剰金より４０万円をアルカイールアカデミー縫製科の支援のための積立金とします。

**Ⅲ　啓発・広報事業**

**１）啓発**

・アーシアンの活動への理解を深める大切な機会となるイベントや、講習会、報告会などが今年度は残念ながらほとんどが中止になりました。反面、アーシアン内部における研修会や、外部講習会へのWeb参加は充実しました。

・初めての試みとして、風の村職員向けの「風の村Webセミナー」を開催しました。なかなか伝わりにくいアーシアンの活動を紹介する貴重な機会となり大変勉強にもなりました。

**２）広報**

・レター　３回発行（８月　１２月　３月）

　今年度は伝えられる活動そのものが少ない中、記事内容を運営委員会で検討を重ね、充実した内容になりました。

・コルザの掲載は本年度１回になりました。ホームページはリニューアルに向けて進めています。

・柏ショップの地域情報誌への掲載（毎月１回）

広報の役割としてもフェアトレードの啓発としても大きな役割を果たしました。

・フェイスブック、インスタグラムの活用は情報発信には欠かせないものになりました。

・リーフレットリニューアル検討委員会を立ち上げ、２０２１年度発行を目指しています。

**Ⅳ．関連団体との協力**

・生活クラブ

千葉カタログへの掲載や展示会その他で協力いただきました。

 風の村の協力でWebセミナーの開催や予約販売などの新しい取り組みが実現しました。千葉グループ会議に出席しました。

・JFSA

アルカイールアカデミーや縫製工房の状況など情報共有に協力いただきました。

縫製工房の商品開発でも引き続き連携を続けています。

カルハナ事業に協力し、柏ショップで品物の取り扱いを開始しました。

・JVC

例年通りカレンダーの販売を行った他、現地の様子や活動内容を報告していただきました。

**Ⅴ．組織運営**

**１）理事会の開催と運営委員会、事業ミーティング**

・オンラインの活用など工夫をしながら予定通り開催しました。

・理事会と運営委員会では有意義な話し合いをするための改善に取り組みました。

・事業ミーティングは、販売ミーティングの他リーフレットリニューアル検討委員会やレター編集会議などを行いました。

**２）会員拡大と仲間づくり**

・個人会員期首３５７名、期末３３９名

・団体会員期首８団体、期末８団体

・引き続き会員拡大に努めましたが、イベント中止などでアピールの場が少なくなりました。新たにアーシアンへの募金箱を設置しました。

・事務局として新しいメンバーが増えました。

**３）その他**

・スキルアップのための外部研修に参加しました。